



2014 年 1 月 21 日

ソネット・メディア・ネットワークス株式会社

PubMatic 社とソネット・メディア・ネットワークスが業務提携

世界 3 大 SSP 『PubMatic』 を日本市場で独占提供

<http://so-netmedia.jp>

ソネット・メディア・ネットワークス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：地引 剛史）は、この度、PubMatic 社（本社：米国カリフォルニア、CEO：Rajeev Goel）が運営する SSP（※1）『PubMatic』の日本国内での独占提供に関して基本合意に至りました。

『PubMatic』は、世界 6 カ国で提供されている SSP です。広告媒体社 が所有する広告枠の収益最大化を目的とした各種機能をはじめ、今後日本市場でも拡大が見込まれる「プライベートマーケットプレイス機能」を搭載され、一元管理できることが特徴です。『PubMatic』が提供する SSP を通じて世界合計、約 1,000 億インプレッションの広告枠が管理・運用され、様々な広告媒体社 の収益最大化に貢献しています。

日本国内では、DSP（※2）の普及により、WEB 広告枠の RTB（※3）取引が急成長しています。一方、広告媒体社では、RTB 取引時における広告枠の自社直接販売への影響や、端末別（PC、モバイル、スマートフォンなど）の広告枠コントロール、複数タグ設置によるクリエイティブ表示遅延の懸念など、様々な課題をもっています。『PubMatic』では、このような課題を解決するために、以下の機能などを搭載しています。

■ プライベートマーケットプレイス機能

プレミアム在庫（付加価値の高い広告枠）を、広告主と広告媒体社が 1 対 1 で取引する機能です。通常の RTB 取引とは別の環境で取引相手を指定するため、広告枠の価値を維持することが可能です。さらに、指定した広告主から申請されるクリエイティブのみの審査を行うため、配信までに発生する広告クリエイティブ掲載審査が短縮され、運用負荷を軽減できます。

■ ブランドコントロール機能

広告媒体社が、必要な条件を設定して、自社の広告媒体価値を維持することが出来る機能です。端末別の取引条件や広告枠の設定を一元管理でき、広告配信後のクリエイティブ表示状況を監視し、リアルタイムな状況を把握ができます。

広告媒体社は、SSP『PubMatic』の導入により運用面やコスト効率の最大化に優れた RTB (※3) 取引を実現することが可能になります。

今回の業務提携により、当社は日本での『PubMatic』の戦略的パートナー企業となります。なお、日本国内における『PubMatic』の提供を今春に開始予定です。

ソネット・メディア・ネットワークス 概要

2000 年 3 月に設立。インターネットサービスプロバイダー (ISP) を運営するソネット株式会社のグループ会社としてインターネットマーケティング事業を展開しています。国内最古のアドネットワーク事業者として 10 年以上の実績があるほか、RTB の市場拡大に先駆け、DSP「Logicad」(ロジカド) を自社開発し、独自のポジションを築いています。

PubMatic 概要

2006 年、米国シリコンバレーにて設立。世界で最も先進的な SSP の広告管理と配信サービスを開発、提供しています。SSP『PubMatic』の様々な機能は、独自のアルゴリズム (特許 12 件、特許出願中 9 件) 技術に基づき、世界 3 大 SSP のひとつとして高い評価を得ています。現在世界 6 ヶ国 (米国、英国、ドイツ、フランス、豪州、インド) にて、グローバルサービスを展開し、急成長を遂げています。

※1 SSP(Supply Side Platform)

広告媒体社の広告収益を最大化するためのプラットフォーム

※2 DSP (Demand Side Platform)

広告主の広告配信効果を最適化するためのプラットフォーム

※3 RTB (Real Time Bidding)

広告枠を 1 インプレッション毎リアルタイムなオークション形式で入札できる形式